歴史をめぐる「王朝街道」

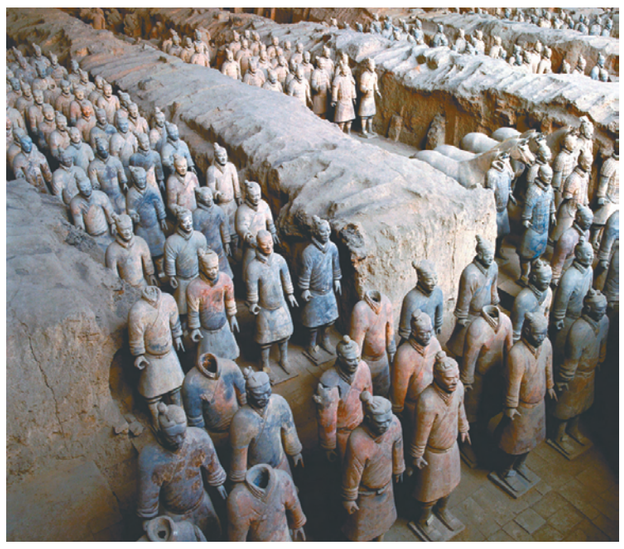
４千年の昔から、母なる大河、黄河沿いの肥沃な地に繁栄してきた数々の都。中でも、「長安」として栄えたシルクロードの東の起点「西安」、「九朝の古都」と呼ばれる「洛陽」、そして今も殷代の城壁が街中に残る「鄭州」などを結ぶ地域では、数々の王朝が興亡を繰り返してきた。古代中国における歴史の主要舞台であったこの地には、国宝級の文化財や博物館所蔵文物などが集中。これらの都市を結ぶ道は「王朝街道」と名付けられ、古都めぐりの人気ルートとなっている。

龍門石窟（河南省）＝敦煌の莫高窟、大同の雲崗石窟と並ぶ世界３大石窟の一つで世界文化遺産。2100以上の仏龕、43の仏塔、10万対以上の仏像が残っている

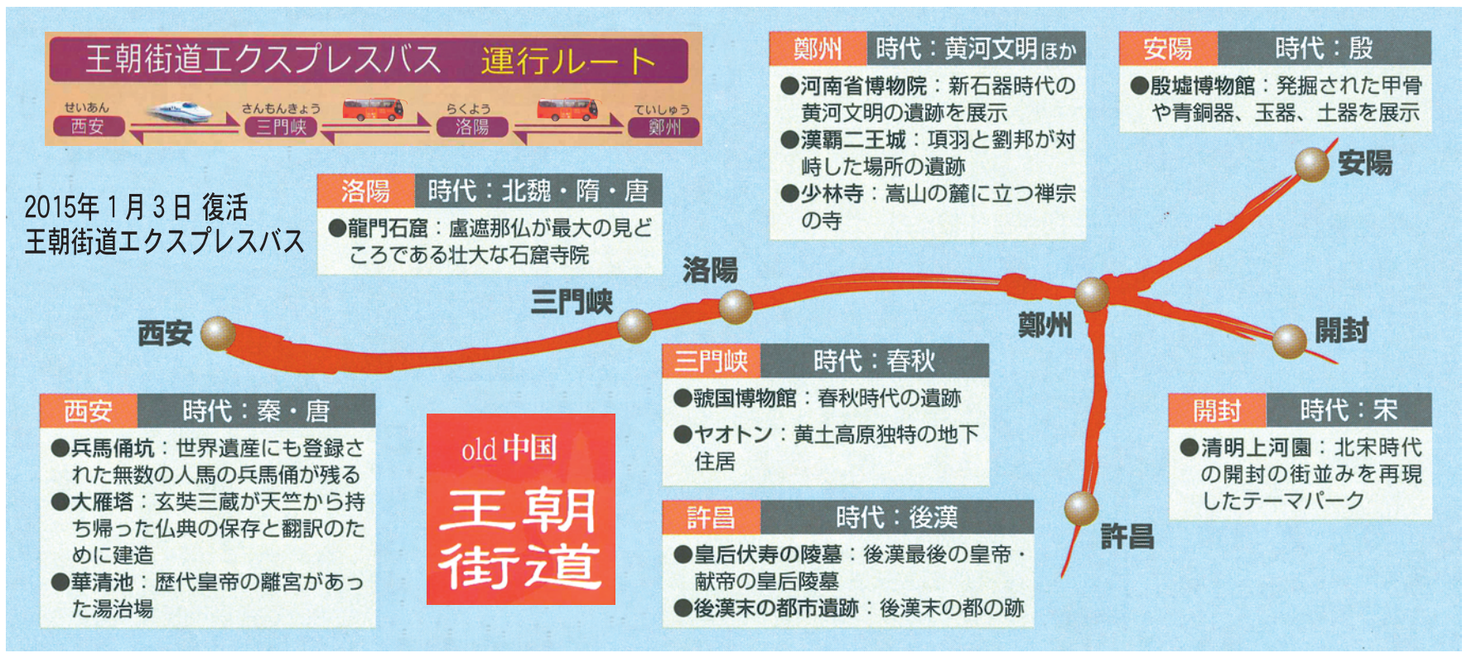
少林寺（河南省）＝少林寺仏教禅宗の総本山で北魏時代（西暦495年）に建立された寺院。少林武術の中心地としても世界的に有名

殷墟（河南省）＝古代殷王朝（ＢＣ1600―ＢＣ1046）後期の遺構。2006年に世界遺産登録された殷墟博物館には、殷代の甲骨、青銅器、墳墓などが展示されている

古都めぐりの人気ルート



兵馬俑坑（陝西省）＝秦の始皇帝の陵墓の周辺に多数副葬された、兵士や馬をかたどった俑がある遺跡。秦の始皇帝陵の一部として1987年、世界文化遺産に登録、公開されている



大雁塔（陝西省）＝西安にある７層、64㍍の塔。玄奘三蔵がインドから持ち帰ったサンスクリット経典や仏像を保管するため652年に建立された

ヤオトン（河南省）＝黄土高原の地下住宅で、黄土を掘り下げてそこに横に部屋を造る下沈式と、黄土の斜面に直接横穴を掘って造る山懸式とがある

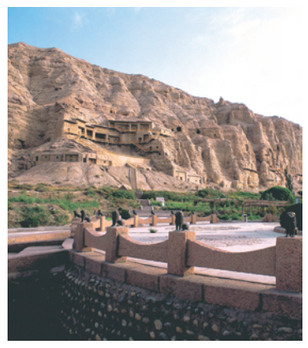
清明上河園（河南省）＝宋代の有名な画家、張択端の代表的作品「清明上河図」に描かれた開封の街並を再現した、宋代歴史文化の大規模テーマパーク

新世界遺産「シルクロード」

今年６月、「シルクロード」と「中国大運河」の世界文化遺産登録が決まり、中国国内の世界遺産は47件になった。シルクロードの始まりは、前漢の武帝の時代、紀元前２世紀にさかのぼる。古代から政治、経済、思想、文化を結ぶ重要なルートと発展し、主要貿易品の絹の流通が盛んであったことからこの名前が付けられた。今回登録されたのは、欧州と中国を結んだシルクロードのうち長安や洛陽から天山回廊を経て中央アジアに至る部分で、三蔵法師がインドから持ち帰った経典を収めたとされる「大雁塔」や「麦積山石窟寺」など22カ所が登録された。

中国の世界遺産構成要素（22カ所）【河南省】漢魏洛陽城遺跡▽隋唐洛陽城定鼎門遺跡▽新安漢函谷関遺跡▽嵩函古道石壕段遺跡【陝西省】漢長安城未央宮遺跡▽唐長安城大明宮遺跡▽興教寺塔▽張騫墓▽大雁塔▽小雁塔▽彬県大仏寺石窟【甘粛省】麦積山石窟▽鎖陽城遺跡と墓群▽玉門関・河倉城遺跡▽懸泉置遺跡▽炳霊寺石窟【新疆ウイグル自治区】高昌故城▽交河故城▽キジル石窟（千仏洞）▽クズルガハ烽火台▽スバシ仏寺遺跡▽北庭故城遺跡

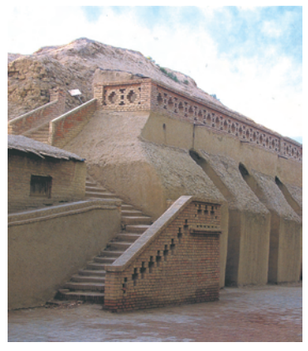
麦積山石窟（甘粛省）＝麦わらを積み上げた様子に似ていることから名づけられた麦積山にある石窟。敦煌莫高窟、大同雲崗石窟、洛陽竜門石窟とともに中国四大石窟に数えられる



キジル石窟（千仏洞）（新疆ウイグル自治区）＝古代シルクロードの「真珠」と言われた、中国で最も早く開かれた新疆随一の石窟。西域、亀茲石窟群の中で最大規模

高昌故城（新疆ウイグル自治区）＝トルファン市郊外の火焔山南麓にある、かつての高昌国の王城の遺跡。東西1・6キロメートル、南北1・5キロメートルの城塞都市で、日干しレンガで造られる

函谷関（河南省）＝霊宝県の北15キロメートルに位置する中国で最も古い関所。「天下第一関」「秦函谷関」とも呼ばれる



北庭故城遺跡（新疆ウイグル自治区）＝天山ウイグル王国の首都ビシュバリクの遺跡。シルクロードの草原地帯とタクラマカン砂漠周辺のオアシス地域を束ねる要衝だった

交河故城（新疆ウイグル自治区）＝中国に唯一残る漢代からの都市遺跡。トルファン（吐魯番）市西方11キロメートルに位置。周囲は約30メートルの断崖に囲まれている

今年のＣＩＴＭ（中国国際旅行博覧会）は11月14日（金）から16日（日）まで、上海新国際博覧センターで開催される。ＣＩＴＭは毎年国内外から２千人以上のセラー、千人以上のバイヤーが参加する大型旅行博覧会で、会期中は世界各地から参加者が集結する。14日に開幕を迎え、３日間にわたってビジネス商談や交易会、特色あるブース出展による観光情報の紹介、発信が行われる。

上海市のＭＩＣＥ（ミーティング、インセンティブツアー、コンベンション、エキシビション・イベント）施設は非常に豊富。10以上の展示施設、二つの大型コンベンションセンター、１００を超える高級ホテルがある。

年間を通じて、国際レベルの展示会などが開催されており、今年秋以降も中国国際医療設備設計と技術展、上海紡績服飾展示会、２０１４アジア電子展・中国国際半導体博覧会などが目白押しだ。

また市内、周辺都市にはさまざまな客層の好みに合った観光スポットが数多く点在。高速鉄道の発達に伴って、蘇州や杭州などの近郊都市へのアクセスも30分から１時間ほどとなった。これらの上海の便利さや選択肢の多さが、ＭＩＣＥ前後のプレ・ポストツアーの満足度の高さにもつながっている。

中国は２０１３年に世界最大の海外旅行市場となり、４年には約１億２千万人の海外旅行者を送出する予測がある他、現在世界３位の観光客受け入れ国となっており、今後の観光市場はますます伸びる見込みだ。

ＣＩＴＭの詳細、出展希望は公式ホームページ(http://www.citm.com.cn)から。